

教職実践演習

科目ナンバー 9F404
教職 教必 2単位

古家 正暢

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、教職課程やその他の授業科目、および教育実習での学びを振り返ることによって、教員として必要な資質・能力が身についているかについて総点検するものです。いわば教職課程の集大成として位置づけられています。

みなさんは、これまで教職科目、専門科目、教育実習、そして課外活動などを通して、多くを学んできました。それぞれの科目や活動単位では、特に印象に残っている内容や反省などがあると思います。教員の仕事は、これを総合的に発揮する必要があります。したがって、これまでの学びを振り返り、統合するとともに、教員になる上での課題を明確にすることがこの授業のねらいです。そのため、この授業ではグループによるダイアログ・ワークショップ・プレゼンテーションなど、みなさんの能動的な学習を中心に進めていきます。

2. 授業の到達目標

本授業では、次の4つの目標とします。

- (1) これまでの学びの履歴を振り返り、自らの到達点と課題を明確にし、課題を克服する方途を明確にする。
- (2) 教師としての使命や理想の教育像を説明できる。
- (3) 生徒や学校の状況に応じて、適切な指導を行うことができる。
- (4) 教科の特質に根ざして教材研究を行うとともに、指導技術を駆使して学習指導を行うことができる。

3. 成績評価の方法および基準

- エッセイ(教育実習の振り返り・講演会の感想・教職課程の振り返り等) 50%
- 各種ダイアログにおける発言・発表 15%
- 各種ワークショップにおける取組姿勢 15%
- 最終プレゼンテーション 20%

4. 教科書・参考文献

教科書

必要なプリントやワークシートを配付します。

「教育実習日誌」(初回の授業に必ず持参してください)

「教職カルテ」(初回の授業にプリントアウトしたものを必ず持参してください)

5. 準備学修の内容

○第1回の授業前に、「教職カルテ」を「PDFで出力」の上、プリントアウトしてください。

○「教職カルテ」を読み、これまでの学習内容を振り返るとともに「教育実習日誌」や研究授業の指導案などを見て、教育実習のことを思い出しておいてください(1時間程度)。

○教育に関する報道ニュースに興味・関心を持ち、毎日最低でも1時間程度は新聞および本を読む習慣をつけてください。

6. その他履修上の注意事項

*現職教員による講話は、先方の都合により実施回が前後する場合があります。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
エッセイ「教育実習を終えて、今、感じること」
- 【第2回】 ダイアログ「教育実習で困ったことを共有しよう」
授業づくり・生徒との関係づくりを中心に
- 【第3回】 特別活動(学級活動・HR活動)を実践しよう
ワークショップ「まわし読み新聞」づくり
- 【第4回】 研究授業で実践した珠玉の模擬授業を公開しよう
相互評価を行うとともに省察を行う
- 【第5回】 講演会:Ⅰ 「若手の現職教員の講話」
現代の学校における教育実践と教職について考察する
- 【第6回】 学校における危機管理上の課題
「教員のメンタルヘルス(心の健康)」を考える
- 【第7回】 講演会:Ⅱ 「ベテランの現職教員の講話」
現代の学校における教育実践と教職について考察する
- 【第8回】 ダイアログ 映像資料をもとに生徒指導のありかたを考える
「もしも私が、この学校に赴任するとしたら…」
- 【第9回】 教育実習の振り返り
「教育実習日誌」の指導教諭によるコメントを中心に
- 【第10回】 教育相談活動
ダイアログ「生徒指導(いじめ)に関する事例研究①」
- 【第11回】 教育相談活動
ダイアログ「生徒指導に(不登校)関する事例研究②」
- 【第12回】 教育相談活動
ダイアログ「生徒指導(問題行動・非行)に関する事例研究③」
- 【第13回】 「円たくん」を使ったワークショップ
「ブラックな学校からカラフルな学校へ」
- 【第14回】 振り返り:Ⅰ 「教職課程3か年半の学びの振り返り」
「教育実習日誌」・「教職カルテ」をもとに、理想の教師像・今後の課題についてエッセイを作成する。
- 【第15回】 振り返り:Ⅱ
プレゼンテーション 「教職課程3か年半の学びの振り返り」を履修者全員の前で発表する。